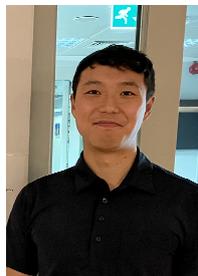


別紙 2

異文化理解促進プログラム協力講師 自己紹介

※公開可能な内容のみ記載ください。



名前：服部拓磨
職業：大学院生
所属：広島大学
専門分野：教育学、南アジア地域研究
日本語レベル：ネイティブ
英語レベル：ビジネスレベル

出身国や外国で過ごした経験について教えてください：

大学時代からパキスタン北部に渡航し、現地の NGO スタッフと協力して教育支援や植林活動に取り組んできました。研究活動も含めてこれまで 5 回渡航し、多様な人々の暮らしや考え方、文化に直接触れる経験を積みました。こうした体験を通じて、子どもたちに「世界は広く、多様な文化がある」ことを伝えたいと考えています。

広島の子供・生徒たちにどんなことを学んでほしいですか：

世界にはさまざまな考え方や生き方があります。まずはその多様さを「知る」ことから始めてほしいと思います。授業を通して、遠くの国や文化を身近に感じられる体験を届け、広島の子どもたちに心に残る学びの場にしたいと考えています。

自己紹介を自由に記載してください（写真などもお使いください）：

これまでパキスタンを中心に南アジアの教育や社会について研究してきました。現在は広島大学博士課程で、インド・バングラデシュ・パキスタンの 3 カ国を対象に調査を行っています。フィールドワークや現地の人々との交流を通して、暮らし・食べ物・学校生活・文化・宗教など、多彩な文化に触れてきました。

私がお話しできる内容としては、パキスタンや南アジアの暮らしや食べ物、学校生活、文化や宗教、お祭り、現地での活動体験などがあります。授業では、現地の人々と協力して学んだ経験や文化の違いを交え、子どもたちが遠くの国や文化を身近に感じ、自分の興味や好奇心を育てられるような体験を届けたいと考えています。

